



バッドンタ・ウ・ケサラ大長老
 “アビダジャマハーラッタグロ”
 「正法によって国を導く偉大な師」
 ミャンマー政府より勳章授与
 ミャンマーサンガ団体の元副長
 ラインサーヤ マハーアウンミエ僧院僧院長



日本上座仏教修道会

祝 日本
 上座仏教修道会発足
 通信誌創刊



30周年記念
 No.100号記念



バッドンタ・ウ・ニャースッタラ大長老
 “アッガマハーサダンマジョーティカダジャ”
 「正法の光を世界に輝かせる最上の偉大な智者」
 ミャンマー政府より勳章授与
 ラインサーヤ マハーアウンミエ僧院副僧院長
 日本上座仏教修道会大長老

Sāsana Sirī Dhara Sīmā

お釈迦さまの教えが伝わるために品位を保つ浄心庵戒壇

令和2年 ご挨拶

新しい年を迎え、ブッダ・ダンマ・サンガの徳と恩を念じ謹んで三宝に合掌礼拝申しあげます。また、すべての生きとし生けるものが健やかであり心安らかに幸せでありますようにと念じ申しあげます。

昨年も、日本上座仏教修道会・浄心庵戒壇「Sāsana Sirī Dhara Sīmā（お釈迦さまの教えが伝わるために品位を保つ浄心庵戒壇）」において、バッドンタニャースッタラ大長老を大導師としてテーラワダ仏教の伝統に則した「カティナシーワラダーナ儀式」をはじめ様々な儀式が比丘サンガによって厳粛に行われました。大長老の大いなる慈悲と叡智あるお導きによって、当会にとって、特別な功德・波羅蜜を積む尊い機会をいただきました。

また、宮城県南三陸町に大仏を安置する為の一連の儀式において、中心的な役割を果たされた当会の大長老が、比丘サンガと共に南三陸大仏開眼供養の儀式を成功裡に導かれましたことは、ミャンマーと日本の国家的な交流にも結びつく象徴的な出来事として全国的に取りあげられました。日本政府から、ミャンマー政府、アウン・サン・スー・チー国家顧問宛に感謝の意が伝えられる結果となりました。

偉大なる大長老の徳とご恩のおかげで、昨年中皆様と共に積むことのできた、すべての功德を随喜申し上げ、三宝と大長老をはじめ、ご関係の皆様の多大なるご支援、ご尽力に謹んで感謝申しあげます。

令和2年（2020年）、日本上座仏教修道会は、おかげさまをもちまして発足30周年を迎え、奇しくも当会マジママー・パティパダー通信も創刊 No.100号（本誌は平成3年1991年8月24日創刊）を迎えることができました。

本年、大きな節目を迎え、日本上座仏教修道会は、浄心庵「シーマー（戒壇）・仏塔建立」大プロジェクトの実現、完成に向け、最善を尽くして取り組んでおります。皆様から多くの暖かいご支援応援をいただいておりますが、建築費の高騰などにより、まだ十分とは言えず厳しい状況でございます。そこで意を決し、資金面の強化をはじめとして、上座仏教について、ご縁ある多くの方々にご存知いただく善き機会になればと、3月からインターネットによる資金支援活動「クラウドファンディング」を活用いたしました。

プロジェクトを実現するために、信念を堅固に、三宝と大長老のお導きのもと、会員一同は、三帰依と共に、八正道（戒・定・慧）を真摯に実践しながら、たゆまず正精進してまいります。引き続き、何卒、あたたかいお心で、ご支援をお願い申しあげます。

純粋なお釈迦さまの教えが永く存在するための浄心庵「シーマー（戒壇）・仏塔建立」のための特別な功德は将来にわたって善い結果をもたらします。

お布施を希望される方は、当会のホームページのトップページ 浄心庵「シーマー（戒壇）・仏塔建立」お布施のご案内 をご参照ください。また、通常のお布施も受けつけております。

Idam no puññaṃ nibbānassa paccayo hotu.

皆さまと共に私たちが積んだ多くの功德によって 涅槃への因縁になりますように

Buddha sāsanaṃ ciraṃ tīṭṭhatu.

お釈迦さまの教えがなくならないで永く存在できますように

Sādhū Sādhū Sādhū

サードゥ サードゥ サードゥ

仏暦2563年 西暦2020年 令和2年2月8日満月のウボサタ
 日本上座仏教修道会 代表 吉田 郁子